

第7回トラック輸送における取引環境・労働時間改善
石川県地方協議会議事録

1. 日 時

平成30年9月19日（水） 14：00～15：30

2. 場 所

ANAクラウンプラザホテル金沢 3階 「瑞雲」

3. 出席者

近 藤 修 司	北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科講師
林 重 毅	石川県商工会議所連合会 金沢商工会議所 企業経営アシストセンター長（代理）
戸 部 茂 樹	一般社団法人石川県経営者協会事務局長（代理）
中 村 明	石川県中小企業団体中央会専務理事
永 井 宏 行	カナカン株式会社物流システム部課長
松 任 宏 幸	津田駒工業株式会社常務取締役総務部長
杉 浦 直 人	石川県交通運輸産業労働組合協議会議長
久 安 常 信	一般社団法人石川県トラック協会長
中 野 廣 志	日本通運株式会社金沢支店支店長
篠 山 賢 一	厚生労働省石川労働局労働基準部長（代理）
林 伸 治	国土交通省北陸信越運輸局自動車交通部長（代理）

（オブザーバー）

神 藤 孝	北陸農政局 経営・事業支援部 食品企業課課長補佐
-------	--------------------------

4. 概 要
議 題

（1）改正標準運送約款、長時間労働抑制（働き方改革）に関するフォローアップ実態調

査について

➤ 北陸信越運輸局自動車交通部貨物課 資料に基づき説明

■主な意見

・アンケートの回答に、時間が掛かる設問がある。例えば、「1日あたりの平均輸送量はどれ程か」という設問には、我々の会社は多くの拠点があるため、物量をきちんと計測できない事業所もあり、算出が難しいかと思う。【荷主団体】

・業界へ幅広くアンケートを取った方がよいと思う。【荷主団体】

・労働時間の把握について、明確に調査するのが難しいのではと思う。【労働組合】

・5日間の年休取得について、取得が相当苦しい状況なので、是非項目に足していただきたい。【運送事業者】

(2)「働き方改革」の動向について

厚生労働省石川労働局労働基準部 資料に基づき説明

■主な意見

・このような法律をきちんと守り、働きやすい職場にして若い人に定着していただきたい。我々も業界のためにきちんとやっていきたいと思う。【運送事業者】

・企業の皆さんも働き方改革の法案改正について隔々まで熟知している訳ではないので、会議所としても周知等取り組んでいかななくてはいけない。【経営者団体】

・働き方改革について、業界をあげて取りくんでいるところであり、6月の関連法案の改正に併せて8月には専門家を呼び、関連法案のセミナーを開催した。【経営者団体】

・先程説明あった資料の中で「石川県働き方改革推進支援センターのご案内」があるが、経営者協会内に事務局を置いて活動している。セミナーの開催、希望があればアドバイザーによる無料訪問などの活動も含めて周知し、魅力ある企業づくりに役立てていただければと思う。【経営者団体】

・法律についての関心度など、まだ浸透が足りない状況。会員向けセミナー等を通してこれ

からも繰り返し説明していくことが大事だと思っている。【経営者団体】

・労働災害が一番多い業界であり、少しでも減少させていく観点から、長時間労働の削減は当然であり、まさにやらなくはいけないこと。【労働組合】

・有給休暇の5日間の取得に関しては、例えば、半日単位で年次有給休暇を結べるかどうかなど、労使協定の結び方の工夫が必要ではないかと思う。【労働組合】

(3) その他

- 農林水産省北陸農政局 参考資料について説明
- 北陸信越運輸局石川運輸支局 参考資料について説明